

総 評

人権についての理解と認識を深め、人権尊重の意識を高めることを目的に、今年も人権啓発に関するポスターがたくさん寄せられたことを何よりもうれしく思います。人権という難しいテーマですが、各学校の先生方のご指導のおかげでこのテーマにそって理解を深め、よりよい表現を工夫していて素晴らしいと思いました。

標語などで多くの人に呼びかける場合に、「一をしてはいけない」と行為を禁止する表現と「一をしましょう」と行動を促す表現がありますが、応募作品では後者の「一をしましょう」と働きかける作品が多くて気持ちよく審査を進めることができました。

また、色遣いが明るい作品が多く、暗い画面にも、その中に明かりを見出そうという意図が感じられ、子どもたちの気持ちの豊かさが感じられました。

小学校の部において、とくに低学年にとっては、人権という大きな事柄の理解は難しい面があり、先生からその提示の仕方を工夫していただいていると思います。子どもたちは難しいテーマに挑戦し、より良い表現をひろげるなかで喜びをともにしているでしょう。ポスターであるため言葉を必ず入れることとしているので、絵と言葉が合うよう、さらに文字もきちんと描くことが大切です。

小学校低学年では、素直な表現で楽しい作品がたくさんありました。中学生では、絵はとても上手に描けていますが漫画的になっているもの、絵は描けているが文字がうまく描けていないもの、絵と言葉が合わないものもあって、今後の表現に工夫してほしいと思います。

高等学校の部では、養護学校からたくさんの応募があり、いずれも一生懸命に取り組まれた素晴らしい作品でした。

今回選ばれた作品を今後の制作と表現の参考にいただき、再び多くの児童、生徒の素晴らしい作品に出会えることを期待しています。

ご指導いただきました学校と先生方に感謝し、ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。